平成31年度 福井県立清水特別支援学校スクールプラン

校訓、教育目標

げんきに　なかよく　わたしらしく
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる。

教育方針

○児童生徒の自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの一貫した系統的・組織的な教育を実践する。
○一人一人の教育ニーズを把握し、児童生徒が人とやり取りしながら、主体的に学ぶ意欲を育む指導や支援の在り方を追求する。
○地域との交流を推進し、地域の小・中学校等の児童生徒や地域の人たちと相互理解を図り、豊かな地域生活が送れる児童生徒の育成を目指す。
○児童生徒一人一人の特性を理解し、関係機関や保護者と連携しながら安心・安全な学校づくりに努める。
○教職員の資質と専門性を高め、学校の組織力、教育力の向上を目指し、日常的に学び合う研究・研修活動の充実を図る。
○関係機関と連携を進めながら、インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

多忙化解消の取組（業務の改善）

・校務支援システムの組織的活用を進め日常業務の効率化と情報の共有を図る。
・諸会議の持ち方の工夫や議題の精選に努め、効率化を図る。

人権教育の推進

・さまざまな人権問題に対する研修を行い人権意識の高い学校づくりを目指す。
・いじめの防止を徹底し、一人一人を大切にする指導を推進する。

重点目標

1 教育課程・学習指導・研修 **（共通項目）** （教務部）	2 生徒指導 **（共通項目）** （指導部）	3 進路指導 **（共通項目）** （指導部）	4 地域支援・交流 **（独自項目）** （教務部）（小・中・高）
授業づくりに取り組む。	児童生徒が健康で安心安全な学校生活を送ることができるよう支援を行う。	卒業後の生活を見通して、在学時から必要な支援を行う。	地域の特別支援教育への理解啓発を推進する

具体的取組

a 個別の教育支援計画をもとに、本校独自の評価シートを活用しながら、ねらいや指導内容を検討し、授業改善に取り組む。

目標：指導の見直しと授業改善を行う。
80%以上

具体的取組

a 研修や訓練を通し、教職員の危機管理に対する意識を高め、個々の役割の理解を深めるとともに、児童生徒への防犯防災教育、保護者への理解啓発に努める。

目標：教職員の危機管理における個々の役割を理解する。
80%以上

b 保護者と連携しながら、自分の体や健康を意識できるよう児童生徒一人一人に合わせて支援する。

目標：保護者と情報を共有しながら、健康の保持のため児童生徒一人一人に合わせた支援を行う。
75%以上

具体的取組

a 卒業後の生活を見通して、在学中の指導内容を工夫する。

目標：「進路調査票」をもとに児童生徒の卒業後の生活を考え、「個別の教育支援計画」を作成し、日々の指導に生かす。
80%以上

具体的取組

a 地域相談に係る研修会を活用し、センター的機能の充実を図る。

目標：地域支援に係る研修会や相談同行研修などに、年３回以上参加して、地域の特別支援教育の現状と課題について考える。
75%以上

b 学校間交流、居住地校交流、地域との交流などに取り組む。

目標：理解啓発が推進されるような学校間交流、居住地校交流、地域との交流などを企画運営し、実施する。
80%以上